



—全国建設請負業協会（全建）の活動目的を教えてください。

岡野会長 建設業界において大きな問題となっている、人材の高齢化、若年層の不足といった「担い手不足」と労働環境の改善に寄与することです。

—事業活動（サービス内容）について教えてください。

岡野会長 大きく3つのサービスを展開しています。

一つ目は技能労働者（職人）の紹介事業です。全建では、日本でも数少ない建設業務有料職業紹介の許可を取得しており、技能労働者の紹介を会員企業様へ行い、担い手不足という課題に寄与しています。

二つ目は一人親方あんし

ん労災保険です。建設現場の作業従事者は、労働災害に遭うことが他業種に比べ非常に多く、一人親方に関しても現場入場の際、労災保険加入を求められるケースが増えてきています。当協会では、そういった一人親方を対象とした国の労災保険（特別加入制度）に加入することができ、各種手続きも全て代行しています。

三つ目は団体災害補償制度です。当協会の団体災害補償制度は、建設作業中や建設現場への往来時に発生する労働災害に備えて、建設会社が政府労災の上乗せ補償として従業員のために手当てするプランです。当協会を通じてご加入いただくことで、会員企業様は団体全体でのスケールメリットを適用してご加入いただくことができます。

—建設業務有料職業紹介とはどのような許可なのでしょうか。

岡野会長 職人の人材紹介を行うためには、建設業務有料職業紹介という特別な許可が必要で、一般の株式会社ではできません。許可を得るには一般社団法人などであることが要件となり、これを必要としていましたが、

ら期待の大きさを感じているとお言葉をいたたいております。また一人親方あんしん労災保険も多くの方にご加入いただき、数千名がすでに加入されています。

—人材紹介を受けた会社が反応は。

岡野会長 目黒区にある二幸建設株式会社様では、事業拡大のため多くの人材を必要としていましたが、

—今後の活動内容を教えてください。

岡野会長 業界経験者や資格保有者、これから職人を自招する若い人材の紹介をさらに強化してまいります。

特に全国でも最も建設業許可業者数が多い東京都を中心として関東圏から協会の会員を増やしていきたい、5年間で日本全国の建設会社様に会員になっていただければ、事業規模の拡大を図っていく、担い手不足の解消に貢献していきます。

さらに、日本人だけではなく建設業界の担い手不足のすべてを補うことは難しいと予測されるため、外国籍の方も積極的に紹介していくことを検討しています。

現状でも建設従業者の外国人労働者は年々増えてきており、外国籍の方の採用も多くなっていくことでよい。

—今後の目標数値をお教えてください。

岡野会長 会員企業を5年で1万社まで増やしていきたい、年間6000人の職人の紹介事業を行っていくことを目標としています。

—会員になるにはどうしたらいいでしょうか。

岡野会長 当協会の事務局は千代田区にあり、東京都を中心として多くの建設会社様に協会の会員になっていただいております。まずは全建のHP (<https://zenken-akcoi.or.jp/>)、またはお電話（03-6261-1337）にご連絡をください。担当より会員になるまでの流れや会員のメリットをご説明させていただきます。

インタビュー

「担い手不足、労働環境改善に寄与」
会長 岡野 稔氏

の許可を取得しているのは日本でも団体です。その中でも実績があるのは当協会のみです。

—協会としてのこれまでの実績は。

岡野会長 職人の紹介事業を昨年開始し、約1年で50名を超える若手求職者と建設会社様をマッチングすることができました。建設業界の担い手不足の解決として、多くの会社様か

採用に苦戦されています。そのため職人希望の若手求職者を紹介させていた

だき、「面接の際も同行や就業後の若手求職者へのサポートなどの対応もあり、いい人を紹介しただけでいます。実際に雇用した方も明るくハキハキしています。向上心がとても高く、非常によく頑張ってくれているので満足しています」とのお言葉もいただきました。

